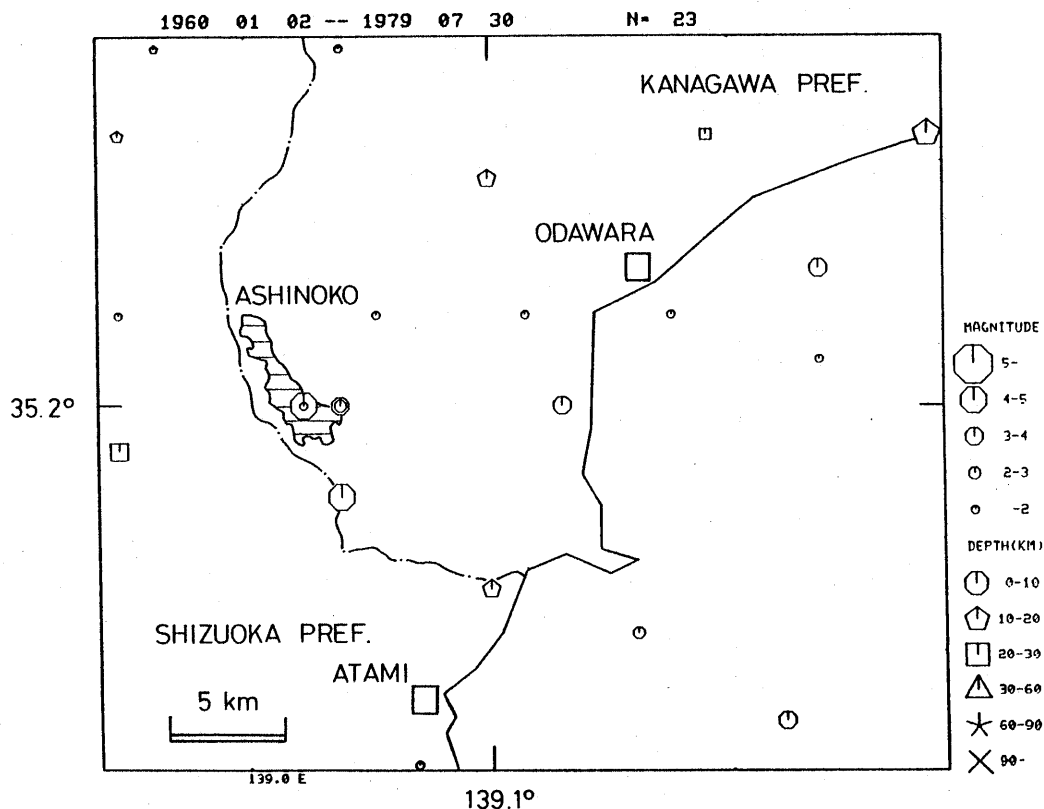


箱根付近の最近の地震活動*

国立防災科学技術センター

1985年3月16日08時56分、小田原の南西約5kmの箱根町付近に $M=3.9$ （気象庁、PEO）の浅い地震が発生した。国立防災科学技術センターの定常観測結果によれば、震央は 35.219°N , 139.132°E 、深さは17.5kmであった。発震機構は、略南北圧縮のストライクスリップ型であった（第3図）。

箱根付近の浅い地震（深さ30km以浅）の最近の震央分布状況を、3つの期間に分けて示す。第1図



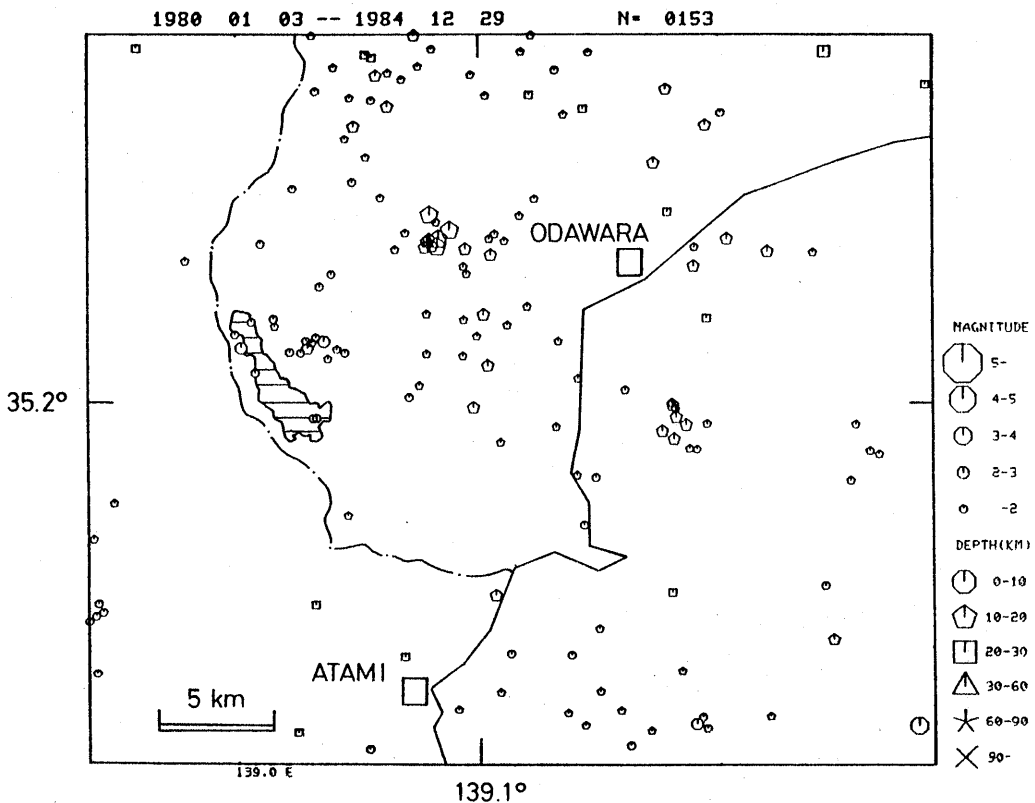
第1図 箱根付近の深さ30km以浅の震央分布（1960年～1979年、気象庁のデータによる）

Fig.1 Epicenters of shallow earthquakes ($H \leq 30$ km) occurring in and near Hakone for the period from 1960 to 1979 (after the data of the Japan Meteorological Agency).

* Received Jul. 24, 1985

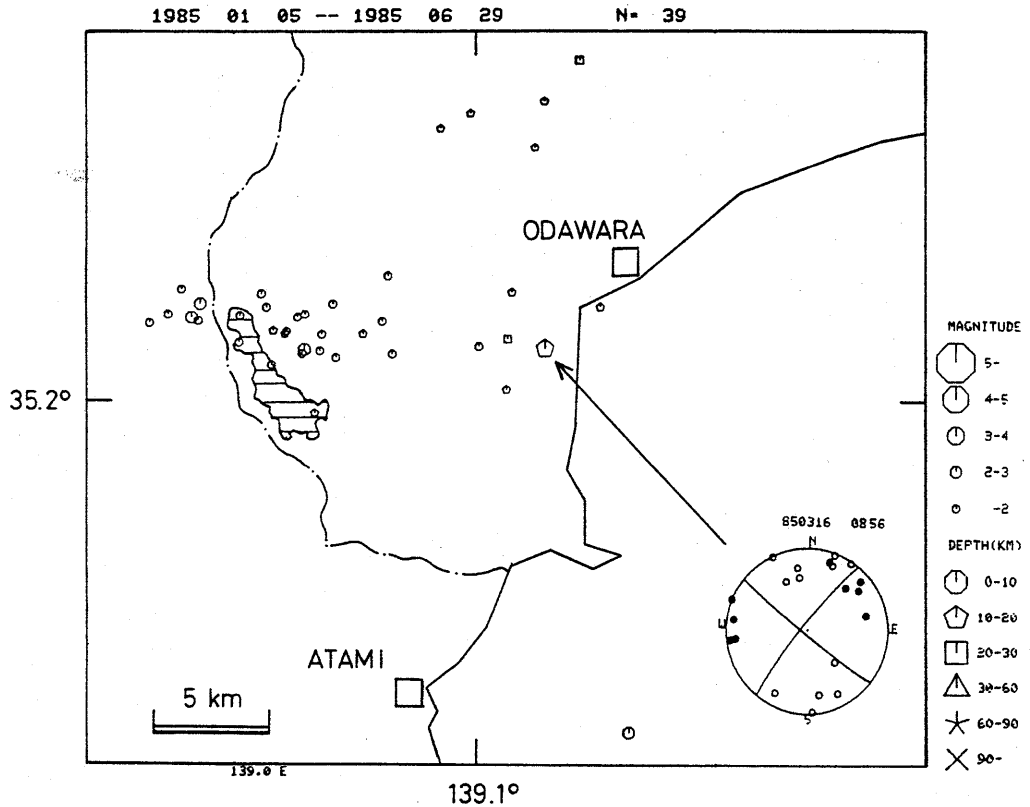
は1960～79年の20年分で、気象庁のデータによる。第2図、第3図は、それぞれ、1980～84年の5年分及び1985年1～6月の半年分で、いずれも国立防災科学技術センターのデータによっている。最近25年間に発生した最も大きい地震は、芦ノ湖南部及びその南方のM=4.5（1960年2月21日）とM=4.3（同年11月2日）で、それ以後M4級以上の地震は起きていない。最近5年間の活動としては、1981年5月の相模湾西部の地震群（最大M=3.2）¹⁾、1982年9月の箱根強羅付近の地震群（最大M=3.6）²⁾が目立つ程度である。なお、本年3月16日の地震とはほぼ同じ場所に、1977年11月6日にM=3.9の地震が起きている。第3図を見ると、芦ノ湖北西方から3月の地震の震央にかけて、震源が東西方向に配列しているのが注目される。

（大竹政和）



第2図 箱根付近の深さ30 km以浅の震央分布（1980年～1984年）

Fig. 2 Epicenters of shallow earthquakes ($H \leq 30$ km) occurring in and near Hakone for the period from 1980 to 1984.



第 3 図 箱根付近の深さ 30 km 以浅の震央分布 (1985 年 1 月 ~ 6 月) と 3 月 16 日の地震の発震機構 (黒丸 : 押し, 白丸 : 引き)

Fig. 3 Epicenters of shallow earthquakes ($H \leq 30$ km) occurring in and near Hakone for the period from January to June of 1985, and the focal plane solution of the earthquake of March 16 (closed circle : compression, open circle : dilatation).

参 考 文 献

- 1) 国立防災科学技術センター (1981) : 1981 年 5 月上旬の相模湾西部の地震活動, 地震予知連絡会会報, **26**, 146 - 148.
- 2) 国立防災科学技術センター (1983) : 1982 年 9 月箱根強羅付近の群発地震活動について, 噴火予知連絡会報, **26**, 47 - 48.